

# 筑波大学放射線・アイソトープ地球システム研究センター静電加速器実験施設利用料金

2023年10月1日 改定

利用課題の種類	分類	区分	利用単位と利用料金(円)	
成果占有	6MVタンデム加速器	宇宙用半導体照射	1日あたり	354,200
		加速器質量分析AMS	1日あたり	284,620
		マイクロビーム	1日あたり	392,150
		その他(6MVタンデム)	1日あたり	202,400
	1MVタンデトロン加速器	タンデトロン利用実験	1日あたり	83,490
	放射性同位元素利用実験	陽電子消滅	1日あたり	103,730
		メスバウアー分光	1測定あたり	43,010
		超伝導磁石(メスバウアー分光オプション)*	1日あたり	92,340
		低温測定(メスバウアー分光オプション)	1日あたり	25,300
		線源利用	1日あたり	35,420
	質量分析試料処理	AMS-炭素試料処理	1日あたり	106,260
高精度放射線検出	高度化放射線計測	1日あたり	35,420	
成果公開	6MVタンデム加速器	宇宙用半導体照射	1日あたり	96,140
		加速器質量分析AMS	1試料あたり	2,530
		マイクロビーム	1日あたり	96,140
		その他(6MVタンデム)	1日あたり	96,140
	1MVタンデトロン加速器	タンデトロン利用実験	1日あたり	36,680
	放射性同位元素利用実験	陽電子消滅	1日あたり	29,720
		メスバウアー分光	1測定あたり	16,440
		超伝導磁石(メスバウアー分光オプション)*	1日あたり	46,170
		低温測定(メスバウアー分光オプション)	1日あたり	12,650
		線源利用	1日あたり	12,650
	質量分析試料処理	AMS-炭素試料処理	1日あたり	12,650
高精度放射線検出	高度化放射線計測	1日あたり	12,650	
トライアル	産業利用および産学連携利用を対象、期間1年、1利用単位は原則2日、成果等は公開(特許取得等の理由により2年延期可能)。		無料	

(注1) 利用料金は総額表示。

(注2) 成果公開とは、秘密保持義務が生じない利用形態をいう。

\*超伝導磁石は寒剤の供給が不安定なため当面の間、使用を中断する。